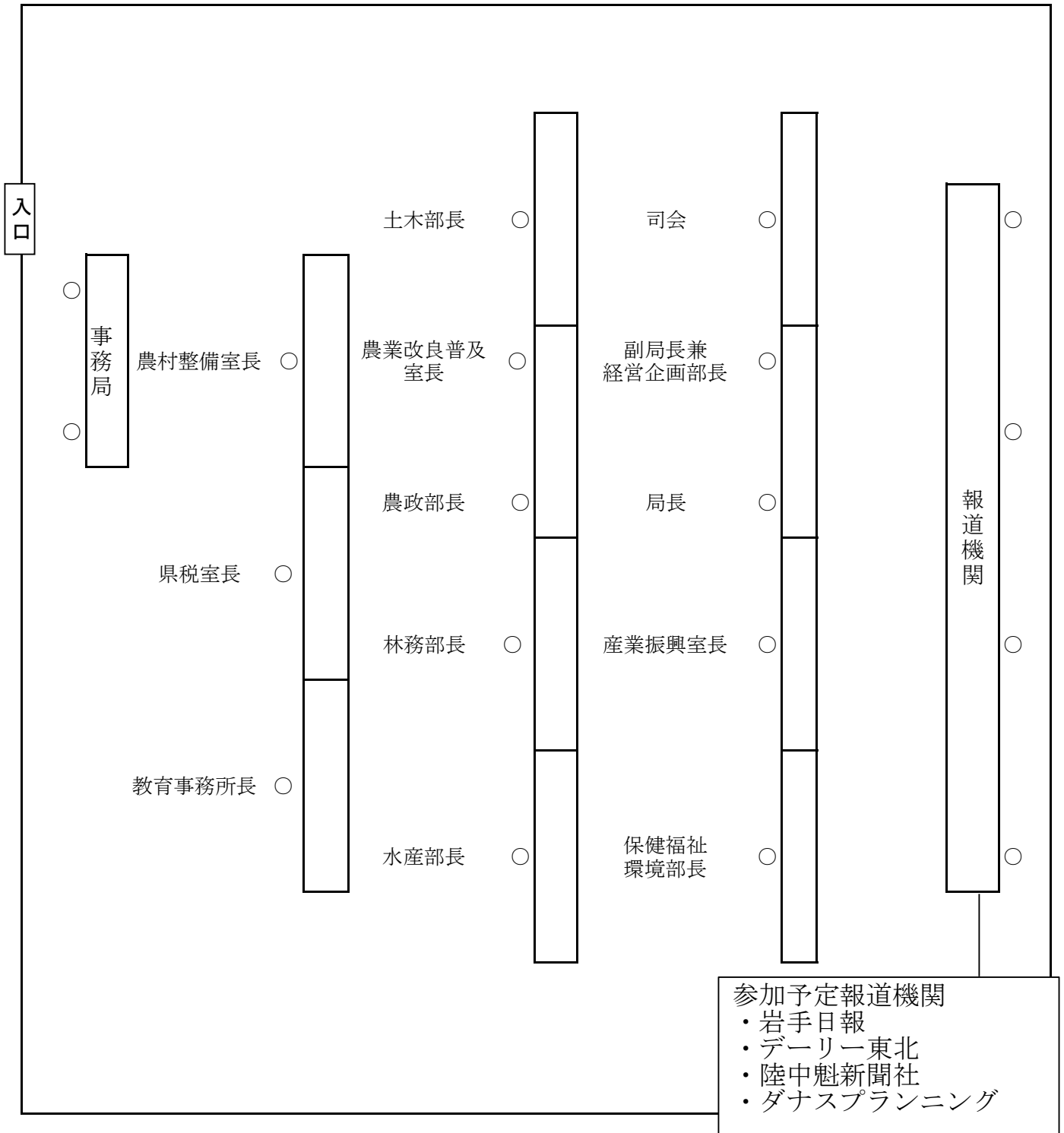


座席表



管内報道機関との定例懇談会（2月）懇談項目

	項目	担当部	ポイント
1	「地域おこし交流会 in 北いわて」の開催について	経営企画部	新たな地域の担い手（地域おこし協力隊、集落支援員及び復興支援員）が地域活性化の取組をより効果的に実施できるよう、久慈、二戸、八戸圏域等の新たな地域の担い手及び市町村担当者等を対象とした交流会を開催します。
2	第3回北いわて地域未来牽引サミットの開催について	産業振興室	地域経済牽引事業計画及び経営革新計画の制度説明や承認状況等についての情報を共有するとともに、事業計画を活用した企業の事例を通して、新たな事業展開について学ぶ標記サミットを開催します。
3	中学生を対象とした地域医療人材育成に係るリーフレットの配付について	保健福祉環境部 ・久慈保健所	管内の医師、看護師等の医療従事者の不足が深刻化する中、中学生が地域医療の現状や医療の重要性について理解を深めるとともに、将来の県北地域の医療を担う人材の育成に資することを目的として、中学生を対象としたリーフレットを作成、配付します。
4	農福連携に係る意見交換会の開催について	農政部	農福連携の輪をより一層広げていくため、管内の農業経営体と福祉事業所の相互理解を深めるとともに、双方が喜びを感じられる取組の推進に向けて意見交換会を開催します。
5	遊休農地を活用した「小久慈じゅうね研究会」の取組について	農政部	久慈市小久慈地区の住民で組織する「小久慈じゅうね研究会」では、かつて地域で栽培されていた「えごま（じゅうね）」を、遊休農地を活用して復活させ、地域活性化に繋げる活動を始めましたので紹介します。
6	ヤマブドウ新系統のワイン適性評価会の開催について	久慈農業改良普及センター	ヤマブドウの新たな系統として「高森早生系」と「佐藤系」が選抜され、収穫期の作業分散や収量の増加による安定供給が期待されていることから、地域の関係者によるワイン醸造適性を把握するための評価会を、以下のとおり開催します。
7	食の匠による郷土料理伝承会の開催について	久慈農業改良普及センター	久慈地方農業農村活性化推進協議会では、一般消費者が地域の郷土料理に触れながら、理解を深めていただくことを目的として、「岩手県食の匠による郷土料理伝承会」を以下のとおり開催します。

8	「岩手木炭海外販売」第1便出発セレモニーの開催について	林務部	県北地域の木炭生産者組織の北いわて木炭産業振興協議会では、協議会として初となる海外向け出荷を記念し、岩手木炭の品質の高さや日本一の木炭産地である岩手・県北地域を広くPRするため、「岩手木炭海外販売」第1便出発セレモニーを開催します。
9	令和3年久慈地区山火事防止対策協議会の開催について	林務部	久慈地方林業振興協議会では、岩手県山火事防止運動月間（令和3年3月1日～5月31日）に先立ち、久慈地域の国、市町村、消防関係者及び林業関係者等との連携により山火事防止対策の円滑な推進を図るため、下記のとおり標記協議会を開催します。
10	児童施設への県産木材製品の提供について	林務部	県では、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少している県産木材の需要を喚起するとともに、児童等の木材への理解醸成や県産木材のPRによる利用促進に関する普及啓発を図るため、県産木材を利用したテーブル等の木製品を児童施設に提供しました。
11	漁業担い手確保に係る定置漁業の講義の実施について	水産部	漁業担い手の確保及び漁業就業意欲の醸成を目的に久慈東高等学校2年生を対象として、地元で主力の漁業である定置漁業について講義を実施します。
12	第1回久慈川水系河川整備懇談会の開催について	土木部	平成28年8月の台風第10号や令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨による久慈川、小屋畑川等の甚大な浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減等を図るため、河川整備の具体的な実施内容を定める「久慈川水系河川整備計画」の策定作業を進めています。
13	高校生との協働による橋梁点検の報告会の開催について	土木部	県立久慈工業高等学校と協働による橋梁点検を実施したところであり、次のとおり、橋梁点検結果等の県への報告会を開催します。

【その他配付資料】

- ・ 月間行事予定表（令和2年2月～3月上旬）


懇談項目 1	「地域おこし交流会 in 北いわて」の開催について (経営企画部)
--------	---

新たな地域の担い手（地域おこし協力隊、集落支援員及び復興支援員）が地域活性化の取組をより効果的に実施できるよう、久慈、二戸、八戸圏域等の新たな地域の担い手及び市町村担当者等を対象とした交流会を、「北緯 40° ナニャトヤラ連邦職員スキルアップ事業」の一環として開催します。

- 1 日時 令和3年2月26日（金）14時～17時（予定）
- 2 場所 久慈地区合同庁舎6階大会議室、5階第3会議室（相談会）
- 3 主催 県北広域振興局
- 4 対象 久慈、二戸、八戸圏域等の
 - ・ 地域おこし協力隊、集落支援員及び復興支援員（OB、OG 含む）
 - ・ 市町村職員、県（広域振興局等）職員

5 内容

(1) 一戸町地域おこし協力隊 渡辺達也氏からの事例発表 (R2 専門家現地派遣の成果等)

(2)  講演 弘前大学大学院地域社会研究科 准教授 平井 太郎 氏
演題 「地域おこし協力隊のサポートについて」(仮)

※ 平井准教授は、総務省地域力創造アドバイザー、農水省新たな農村政策の在り方検討会委員、国交省半島振興の在り方検討会委員ほかを務められています。

(3) 交流会 (悩み事の相談やネットワークづくりのため、自由に情報交換)

(4) 相談会 (平井准教授が別室で、事前に申込みがあった参加者からの相談に対応)

6 新型コロナウイルス感染防止対策

参加者にマスクの着用を義務付けるとともに、会場入室前に検温及び手指消毒を行うほか、3密の回避と換気を徹底します。

- 地域おこし協力隊：人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。(総務省)
- 集落支援員：地方自治体（県・市町村）からの委嘱を受け、市町村職員とも連携しながら、集落への「目配り」として、集落の巡回、状況把握等を行う制度。(総務省)
- 復興支援員：被災自治体が地域内外の人材を受け入れ、被災者の見守りやケア、地域おこし活動等の「復興に伴う地域協力活動」を行ってもらい、地域コミュニティの再構築を図ることを目的とした制度。(総務省)



【昨年度の様子】

担当 企画推進課長 細越
電話：0194-66-9671 内線 315

【別紙】

「地域おこし交流会 in 北いわて」開催要領

1 ねらい

新たな地域の担い手（地域おこし協力隊、集落支援員及び復興支援員）が地域活性化の取組を効果的に実施できるよう、今年度、専門家の現地派遣を受けた地域おこし協力隊から、現在の活動状況等について発表していただく。

また、今年度派遣を行った専門家から講演を行っていただき、今後の地域おこし協力隊のサポート等に役立てていただく。

併せて、他地域で活躍する新たな地域の担い手どうしで交流していただくことにより、悩みの解決や、今後の活動に向けた一助としていただく。

2 日時等

日時：令和3年2月26日（金）14時～17時（予定）

場所：久慈地区合同庁舎6階大会議室、5階第3会議室

主催：岩手県北広域振興局経営企画部

3 参加対象者

久慈、二戸、八戸圏域等の

- ・ 地域おこし協力隊、集落支援員及び復興支援員（OB、OG含む）
- ・ 市町村職員、県（広域振興局等）職員

4 内容

14:00～14:05	開会・あいさつ、今年度の専門家派遣事業「地域おこしなんでも相談 in 北いわて」の概要説明（6階大会議室）	
14:05～14:35	事例発表 一戸町 地域おこし協力隊 渡辺 達也 氏	
14:35～14:45	質疑応答	
14:45～15:30	講演 弘前大学大学院地域社会研究科 准教授 平井 太郎 氏 演題 「地域おこし協力隊のサポートについて」（仮）	
15:30～15:45	質疑応答・休憩（アンケート依頼）	
15:45～17:00	交流会（6階大会議室） ・ 悩み事の相談や、ネットワークづくりのための自由な情報交換の場です。 ・ 飲み物の持参可です。	相談会（5階第3会議室） ・ 平井准教授が、地域おこし協力隊等及び市町村担当者からの相談に対応します。 （事前に提出された相談内容により時間を配分します。）
17:00	閉場	

※ マスク・名札の着用及び名刺の準備をお願いします。

なお、会場入室前に、検温及び手指消毒を行っていただきます。

懇談項目 2	第3回北いわて地域未来牽引サミットの開催について (経営企画部産業振興室)
--------	---

県北広域振興局では、ものづくり分野や食産業分野などの企業が、地域の特性を生かし、リーディング企業へと成長することを目的としたサミットを開催します。

サミットは、主に県北地域の経営者層を対象とし、地域未来牽引事業計画及び経営革新計画の制度説明や承認状況等の情報を共有するとともに、事業計画を活用した企業の事例を通して、新たな事業展開について学べる内容です。

1 日時

令和3年2月10日(水) 14:00~16:50 (受付13:30~)

2 場所

久慈グランドホテル(〒028-0051 久慈市川崎町10-15)及びオンライン

3 主催

岩手県県北広域振興局

4 後援

岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、県北ものづくり産業ネットワーク、北いわて未来づくりネットワーク、岩手県県北地域産業活性化協議会

5 対象者

企業、行政、商工団体、金融機関及び支援機関等の関係者

6 定員

会場50名、オンライン50名(先着順)

7 次第

(1) 主催者挨拶

県北広域振興局長

(2) 制度説明

ア 地域経済牽引事業計画の制度説明と県内の承認状況について

説明者：商工労働観光部商工企画室

イ 経営革新計画の制度説明と県北管内の承認状況について

説明者：県北広域振興局経営企画部

(3) 事例紹介

ア 地域経済牽引事業計画への取組事例(ものづくり分野)

講師：キョーユー株式会社 取締役副社長 境 弘志 氏

イ 経営革新計画への取組事例(食産業分野)

講師：株式会社ミナミ食品 専務 南 辰典 氏

8 その他

コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、受付時の検温及び手指消毒に御協力をお願いいたします。また、適宜換気を行いますので、暖かい服装でお越しください。

【担当】産業振興室長 酒井

電話：0194-66-9670

懇談項目 3	中学生を対象とした地域医療人材育成に係るリーフレットの配付 について （保健福祉環境部・久慈保健所）
--------	--

久慈保健所では、医療人材育成事業の一環として、管内の医療機関と連携し、管内の中学生を対象に「医師による中学校への出前講座」及び「医療現場体験会」を実施していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止し、代替としてリーフレットを作成し、配付しましたのでお知らせします。

1 概要

管内の医師、看護師等の医療従事者の不足が深刻化する中、**中学生が地域医療の現状や医療の重要性について理解を深めるとともに、将来の県北地域の医療を担う人材の育成に資することを目的として、中学生を対象としたリーフレットを作成し配付しました。**

対象：管内4市町村の中学校13校の全生徒 約1,400人

2 主な内容

(1) 本県及び管内の医療従事者の状況

県内でも特に県北地域は、医師や看護師、薬剤師が少なく、医師の高齢化も進み、今後、医師不足がより深刻な問題になる可能性があることを説明。

(2) 県における医療従事者確保に係る取組

医療従事者になるためのサポートとして、医師、看護師を目指す学生に対する奨学金制度を紹介。

○ 人口10万人あたりの医療従事者数（H28）

職種	全国	岩手県	久慈圏域
医師	251.7	207.5	146.6
看護師	1,228.7	1,388.9	1,189.0
薬剤師	237.4	181.6	81.0

（岩手県保健医療計画 2018-2023）

（参考）令和元年度の事業実績

- 医師による中学校への出前講座
令和元年6月5日～7月17日に管内10中学校で実施。427名が参加。
- 中学生を対象とした医療現場体験会
令和元年7月27日に県立久慈病院を会場に実施。管内3中学校11名が参加。

担当：企画管理課長 東
電話：0194-53-4987 内線：244

一緒に地域の医療を考えてみませんか？

令和3年1月28日 岩手県久慈保健所

岩手県の医療従事者の状況

岩手県の医師数や薬剤師数は全国と比較して少なく、看護職員数も必要な数に足りていません。また、診療科別では特に産婦人科や小児科を専門とする医師が少ない状況です。



県北地域の医療従事者の状況

岩手県内でも特に県北地域は、医師や看護師、薬剤師が少なく、また、医師の高齢化も進んできているため、今後、医師不足がより深刻な問題になる可能性があります。

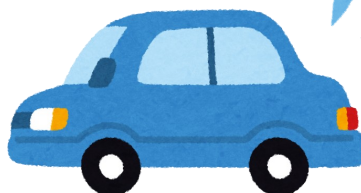
医療従事者が少ないとどうなる？

居住する地域で適切な医療の受診ができないなどの問題があります。例えば、医療従事者が少ないことで、将来皆さんにも次のような問題が起きるかもしれません。

小児科がなくて、
子供を診療してくれる
医療機関がない…



産婦人科がなくて、出産のため
に他の市町村や隣の県まで
移動しないといけない…



緊急で治療を受けたいと
きに、受け入れてくれる
医療機関がない…



岩手県の将来を担う医療従事者を目指しませんか？

医療従事者になるためのサポート

岩手県や県内市町村では、奨学金制度など、将来医師や看護師を目指す学生のサポートをしています。裏面は岩手県や市町村の奨学金情報です。



～岩手県の奨学金情報～

将来、岩手の地域医療を担う医師や看護師を目指す皆さんを応援する奨学金制度を紹介します。

奨学金の中には、卒業後、一定の条件を満たした場合、返済が免除される奨学金もあります。

自分にあった奨学金を活用して、将来の夢に向けてはばたいてください。

1 医師

	奨学金名	対象となる大学	貸付額	返済免除の条件
岩手県	市町村医師養成修学資金	全国の大学	<ul style="list-style-type: none"> 月額 20万円 入学一時金760万円 (私立大学入学者のみ) 	医師として2年間の臨床研修受講後、県立病院等で通算6年間又は資金の貸与期間勤務
	医療局医師奨学資金	全国の大学	<ul style="list-style-type: none"> 国立大学 月額20万円 私立大学 月額30万円 	
		岩手医科大学	<ul style="list-style-type: none"> 月額 30万円 	
		東北大学	<ul style="list-style-type: none"> 月額 20万円 	
		産婦人科 特別枠	<ul style="list-style-type: none"> 私立大学 月額40万円 	
	岩手県医師修学資金	岩手医科大学 (地域枠特別推薦入試希望者)	<ul style="list-style-type: none"> 年額 440万円 入学一時金 410万円 	医師として2年間の臨床研修受講後、公的病院等で通算9年間勤務
洋野町	洋野町医師養成奨学金	全国の大学	<ul style="list-style-type: none"> 月額 20万円 入学一時金 760万円 (私立大学入学者のみ) 	洋野町立の病院及び診療所に貸付を受けた期間勤務

2 看護師等

	奨学金名	対象となる学校	貸付額	返済免除の条件
岩手県	岩手県看護職員修学資金貸付制度	全国の看護職員等の学校・養成所等	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健師、助産師、看護師 <ul style="list-style-type: none"> 国公立 月額51,000円以内 私立 月額6万円以内 ● 准看護師 <ul style="list-style-type: none"> 国公立 月額23,000円以内 私立 月額35,000円以内 	<ol style="list-style-type: none"> 卒業と同時に必要な看護師免許を取得すること ※ 助産師は助産師免許 卒業後ただちに岩手県内の特定の病院や施設等に就職すること 岩手県内の特定の病院や施設等で5年間(または9年間)継続して業務に従事すること
久慈市	久慈市看護師養成奨学金		<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師 <ul style="list-style-type: none"> 月額 8万円以内 	久慈市内の医療機関や介護施設、障がい者施設に貸付を受けた期間勤務
洋野町	洋野町看護職員等養成奨学金		<ul style="list-style-type: none"> ● 看護師、保健師、薬剤師、診療放射線技師 <ul style="list-style-type: none"> 年度額 入学金及び授業料の範囲内 月額 6万円以内 	洋野町職員として10年勤務したとき
普代村	普代村看護・介護・保育職養成奨学資金貸付制度		<ul style="list-style-type: none"> ● 保健師、看護師 <ul style="list-style-type: none"> 年度額 入学金及び授業料の範囲内 月額 6万円以内 	普代村に居住し、村内施設に引き続き従事した期間が5年、または、村外施設で従事した期間が10年に達したとき

※ 上記の情報は、令和3年1月1日時点のものです。(岩手県久慈保健所)

懇談項目 4	農福連携に係る意見交換会の開催について <p style="text-align: right;">（農政部）</p>
--------	--

久慈地域における農福連携の取組は広がりつつあります。

農福連携の輪をより一層広げていくため、管内の農業経営体と福祉事業所の相互理解を深めるとともに、双方が喜びを感じられる取組の推進に向けて意見交換会を開催します。

1 日時

令和3年2月9日（火）14：00～15：30

2 場所

久慈地区合同庁舎 6階大会議室

3 主催

県北広域振興局農政部

4 参集範囲

新岩手農業協同組合、同久慈地域野菜部会、同久慈地域菌床しいたけ部会、市町村、就労継続支援B型事業所、市町村社会福祉協議会、岩手県社会福祉協議会、県北広域振興局（保健福祉環境部、農政部、久慈農業改良普及センター）

5 内容

（1）報告

ア 県内の効果的な農福連携の先進事例について

イ 管内の周年作業に向けた取組事例について

（2）意見交換

テーマ：「農業経営体・福祉事業所双方が喜びを感じられる取組に向けて」

担当：農業振興課長 及川 電話：0194-53-4983 内線 223
--

懇談項目 5	遊休農地を活用した「小久慈じゅうね研究会」の取組について (農政部)
--------	---------------------------------------

県北広域振興局では、県北地域の特色ある農畜産物等の生産振興の取組や、中山間地域の活性化の取組を支援しています。

久慈市小久慈地区の住民で組織する「小久慈じゅうね研究会」では、かつて地域で栽培されていた「えごま（じゅうね）」を、遊休農地を活用して復活させ、地域活性化に繋げる活動を始めました。

今年度は、地域経営推進費事業を活用した視察研修等の取組が行われましたので、紹介します。

1 小久慈じゅうね研究会の構成

小久慈地区住民 10 名

2 研究会の活動

(1) 令和2年9月、軽米町の県北農業研究所や、えごま生産農家、ミレットパーク及び産直ミルみるハウスを訪問し、えごまの栽培や加工品開発等について研修しました。



(2) 令和2年12月、まちづくり講演会を開催し、農業の視点から地域活性化について考えました。



(3) 令和3年2月18日(木)には、えごまを使った料理の試作や、春からの栽培に向けた勉強会を開催予定です。

(4) 令和3年度は、地区内の遊休農地等でえごまを栽培し、秋には手作りのえごま料理を味わう予定です。

担当：農政調整課長 佐藤
電話：0194-53-4983 (内線 219)

懇談項目 6

ヤマブドウ新系統のワイン適性評価会の開催について

(久慈農業改良普及センター)

久慈地方は国内有数のヤマブドウの産地ですが、主な用途であるワイン原料としての需要を高めていくためには、産地とワイナリーが一体となって、ワイン醸造に適した系統を農家へ普及し、ヤマブドウワインの品質とユーザーからの評価を向上させていく必要があります。

このような中、ヤマブドウの新たな系統として「高森早生系」と「佐藤系」が選抜され、収穫期の作業分散や収量の増加による安定供給が期待されています。

そこで、2つの新系統について、試作したワインにより醸造適性を把握するための評価会を、以下のとおり開催します。

1 主催

岩手県^{※1}、久慈地方果樹産地協議会（管内の生産者等で構成される組織）

※1 県北広域振興局の『日本一の「ヤマブドウ」品質向上支援事業』（地域経営推進費）の一環として開催
（ワインの試作は、この事業の中で地方独立行政法人岩手県工業技術センターに委託）

2 日時

令和3年2月19日（金）15:00～17:00

3 場所

久慈グランドホテル スカイホール（岩手県久慈市川崎町10-15 電話：0194-52-2222）

4 内容

- (1) ヤマブドウ新系統の生育特性・収量性等についての報告（久慈農業改良普及センター）
- (2) ワインの試作方法と醸造適性の概要についての解説（岩手県工業技術センター）
- (3) 試飲・評価（有望系統「高森早生系^{※2}」「佐藤系^{※3}」及び比較系統「野村系^{※4}」のワイン）
- (4) 意見交換

※2 「高森早生系」は、株式会社下重農園（洋野町）が選抜した系統で、9月中旬頃から収穫可能な早生系統。既存系統より早く収穫できるため、収穫・調製作業の平準化が期待できる。

※3 「佐藤系」は、佐藤嘉美氏（野田村）が選抜した系統で、10月上旬頃から収穫可能な中生系統。耐病性が強く多収である。

※4 「野村系」は、農事組合法人野村園芸農場（青森県）が選抜した系統で、9月下旬頃から収穫可能な早生系統。管内の主力系統の一つであり、過去のワイン適性調査で香りと味のバランスが高く評価されている。

5 参集範囲

久慈地方ヤマブドウ振興協議会（ヤマブドウ生産者）、(株)佐幸本店、(有)総合農舎山形村、(株)福来、(株)のだむら、新岩手農業協同組合、市町村、岩手県（県北広域振興局経営企画部、農政部、林務部、久慈農業改良普及センター）

担当：経営指導課長 井村
電話：0194-53-4989 内線：252

懇談項目 7

食の匠による郷土料理伝承会の開催について

(久慈農業改良普及センター)

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、一般消費者が地域の郷土料理に触れながら、理解を深めていただくことを目的として、「岩手県食の匠による郷土料理伝承会」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

- 1 日時 令和3年2月22日（月）10:00～12:00
- 2 場所 久慈地区合同庁舎 2階 栄養相談室
- 3 対象者 久慈市にお住まいの方 5組（1組あたり2名まで）
※ 2月1日から久慈市広報等を通じて参加者を募っています。
- 4 内容 久慈地域の郷土料理「小豆ぱっとう」「つぼ」の調理
- 5 講師 岩手県「食の匠」 田中和子氏（久慈市：平成22年度認定）
岩手県「食の匠」 大向ヨシエ氏（久慈市：平成26年度認定）
- 6 その他 新型コロナウイルス感染防止策を講じて開催しますが、発生状況により中止する場合があります。

小豆ぱっとうは、久慈地域では建前や庭じまい等のお祝い事のごちそうであり、冬期間の人がたくさん集まる時にも大鍋に作って振る舞われる郷土料理です。どんぶりに盛り分け、吸い物と漬物、酢の物等と組み合わせで食べられます。



つぼは、野菜やアナゴの入った煮物です。久慈の漁家でお正月やお祝いの膳に作られた料理で、「つぼ」と呼ばれる蓋付きの木椀に盛り付け食べられました。

昔はアナゴはご馳走で、正月にはたくさん作り置きをして温め直して食べられた郷土料理です。



※ 岩手県「食の匠」について

久慈地域には、岩手県知事が認定する食の匠が27人・組（個人22人・団体5組、令和3年1月末現在）おり、「やませの郷（さと）食の技研究会」を組織し、長年受け継がれてきた地域の食文化や郷土料理に関する知識・技術を磨き、その情報発信と次代への伝承に向けて活動しています。

担当：地域指導課長 池野

電話：0194-66-9684 内線：256

懇談項目 8	「岩手木炭海外販売」第1便出発セレモニーの開催について (林務部)
--------	--------------------------------------

県北地域の木炭生産者組織である北いわて木炭産業振興協議会（会長：藤森 茂）では、この度、初めて海外向けに岩手木炭を出荷（※）することとなり、「岩手木炭海外販売」第1便出発セレモニーを次のとおり開催しますので、お知らせします。

1 日 時

令和3年2月9日（火）13時30分から

2 場 所

久慈市山形町荷軽部3-18（有限会社谷地林業製炭場）



3 出席者

- ・ 北いわて木炭産業振興協議会 会長 藤森 茂
- ・ 久慈市長 遠藤 譲一（日本一の炭の里づくり構想推進協議会会長）
- ・ 一般社団法人岩手県木炭協会 会長 安藤 長質
- ・ 有限会社谷地林業 代表取締役 谷地 譲（北いわて木炭産業振興協議会事務局長）
- ・ 県北広域振興局長

4 主 催

北いわて木炭産業振興協議会

5 出荷先

スイス・チューリッヒで日本の七輪などを取り扱うマルゴニー社
(<https://www.margoni-grill.ch/>)

6 セレモニーに関する問い合わせ先

北いわて木炭産業振興協議会事務局（有限会社谷地林業 内）
事務局長 谷地 譲
電話：0194-72-2221 E-MAIL：yuzuru@yatiringyou.com

7 その他

県北広域振興局では、北いわて木炭産業振興協議会による木炭輸出など販路拡大に向けた取組について、地域経営推進費（北いわて木炭販路拡大促進事業）を活用して支援しています。

【参考】県内の木炭生産の現状

岩手県の木炭生産量は全国一で、国内生産量の約30%を占めます。

中でも県北地域は、ナラ類をはじめとした豊富な広葉樹資源を生かした木炭産業が盛んで、県内生産量の90%を占める「日本一の炭の里」です。

平成30年には、「岩手木炭」が国の「地理的表示（GI）保護制度」に木炭としては国内で初めて登録されました。

担当：林業振興課長 佐々木
電話：0194-53-4984 内線 226

【資料】

1 北いわて木炭産業振興協議会について

(1) 概要

岩手県北地域における木炭産業の総合的な振興を図ることを目的として、平成23年9月5日に設立（会長：藤森 茂）。

(2) 主な活動内容

- ・ 岩手木炭の安定的かつ持続的な生産に関すること。
- ・ 木炭の販売価格などの情報共有に関すること。
- ・ 木炭生産者などの収益性の確保、安定的な経営に関すること。

(3) 会員

久慈市、二戸市、洋野町、葛巻町、軽米町、九戸村の木炭生産者等
会員数：74名（平成31年4月1日時点）

2 岩手木炭の輸出実績について

一般社団法人岩手県木炭協会等を通じて、アメリカや台湾などへの輸出実績あり

【問合せ先】一般社団法人岩手県木炭協会

住所：盛岡市南仙北2丁目3-21

電話：019-601-7144

※ 海外向け出荷の概要

【出荷先】

マルゴーニー社（所在地：スイス・チューリッヒ）

【出荷元】

北いわて木炭産業振興協議会（木炭の製造は有限会社谷地林業）

【出荷に至った経緯】

マルゴーニー社が七輪で使用する日本産の良質な木炭を調査している中、同社が「岩手木炭」に興味を持ち、ホームページ等で情報発信していた谷地林業に問い合わせ、商談が進んだもの。

なお、今後の需要増加にも対応できるよう協議会として取引する形とした。

【出荷量】

約500キログラム

【スケジュール】

- ・ 2/9：第1便出発セレモニー
（陸路で成田空港まで運送、成田空港から空路でチューリッヒ空港へ、運送・通関は日本通運株式会社）
- ・ 2月中：現地到着予定

懇談項目 9	令和3年久慈地区山火事防止対策協議会の開催について (林務部)
--------	--

久慈地方林業振興協議会（会長：久慈市長）では、岩手県山火事防止運動月間（令和3年3月1日～5月31日）に先立ち、久慈地域の国、市町村、消防関係者及び林業関係者等との連携による山火事防止対策の円滑な推進を図るため、下記のとおり標記協議会を開催します。

記

1 日 時

令和3年2月19日（金） 13時30分～15時

2 場 所

久慈地区合同庁舎 6階大会議室

3 出席予定機関等

別紙のとおり（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年より参集団体を減らし、規模を縮小して開催）

4 内 容

- (1) 令和2年林野火災発生状況について
- (2) 令和2年山火事防止対策実施状況について
- (3) 令和3年久慈地区山火事防止対策実施計画（案）について

5 その他

令和3年山火事防止運動統一標語（全国統一標語）
「あなたです 森を火事から 守るのは」

6 参 考

(1) 過去5年の林野火災発生状況

		H28	H29	H30	R 1	R 2
県内	件数	59	44	33	59	38
	面積(ha)	10.11	423.58	57.24	9.19	14.74
久慈地域	件数	10	8	2	5	2
	面積(ha)	0.49	0.73	2.99	0.83	4.09

※ H29の県内面積のうち、413.39haは釜石市で発生した大規模林野火災。

(2) 久慈地方林業振興協議会が実施する山火事防止の取組（予定）

- ・ 久慈地区山火事予防ポスターコンクール表彰式（3月上旬、久慈地区合同庁舎）
- ・ 山火事防止自動車パレード（4月上旬、久慈地域4市町村）

担当：林業振興課長 佐々木
電話：0194-53-4984 内線 226

【別紙】

令和3年久慈地区山火事防止対策協議会出席機関、団体（予定）

名 称
三陸北部森林管理署久慈支署
久慈市
洋野町
野田村
普代村
久慈警察署
久慈広域連合消防本部
久慈消防署
久慈市消防団
久慈地方森林組合
野田村森林組合
久慈地区国有林材生産協同組合
九戸木材協同組合
新岩手農業協同組合
久慈農業改良普及センター
県北広域振興局林務部

懇談項目 10	児童施設への県産木材製品の提供について (林務部)
---------	----------------------------------

県では、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少している県産木材の需要を喚起するとともに、児童等の木材への理解醸成や県産木材のPRによる利用促進に関する普及啓発を図るため、県産木材を利用したテーブル等の木製品を児童施設に提供しています。このうち、久慈地区では24施設に提供したので、お知らせします。

1 実施主体

岩手県（令和2年度県産木材等需要創出緊急対策事業）

2 対象とした児童施設及び提供した木製品の内訳

県内の放課後児童クラブ、児童館、子ども食堂等のうち、希望があった369施設

※ 久慈管内対象児童施設及び提供した木製品の内訳

市町村	児童施設数 (施設)	提供した木製品の数(台)		
		収納付きベンチ	折りたたみテーブル	ボックス棚
久慈市	12	5	10	12
洋野町	10	6	4	12
普代村	2	0	0	6
計	24	11	14	30

3 提供した時期

令和2年12月下旬～令和3年1月上旬



収納付きベンチ



折りたたみテーブル（2台）



ボックス棚（2段）

【いわて木づかい宣言 キャッチフレーズ】

木で感じる ほっといわて ー使いましょう。いわての木を。ー

※ 本庁事業の問合せ先：県庁農林水産部林業振興課
技術主幹兼林業・木材担当課長 千葉
主査 渡辺
電話：019-629-5772・5773

担当：林業振興課長 佐々木
電話：0194-53-4984 内線 226

懇談項目 11	漁業担い手確保に係る定置漁業の講義の実施について (水産部)
---------	--

水産業は、漁業就業者の減少と高齢化が進み、人手不足が漁業生産にも大きく影響していることから、**漁業就業者の確保が喫緊の課題**となっています。

そのため、水産部では、「明日の浜人応援事業」（地域経営推進費事業）により、若年層への漁業に関する教育を重視し、高校生を対象に漁業に関する座学や漁業の職場体験を実施し、**漁業への理解を深め、意識を醸成**することで漁業就業に結び付ける取組を行っています。

この度、**漁業担い手の確保及び漁業就業意欲の醸成**を目的に、久慈東高等学校2年生を対象として、地元で主力の漁業である**定置漁業**について講義を実施しますので、お知らせします。

1 これまでの取組の概要

- (1) 漁業ガイダンス（5月26日、久慈東高等学校、2年生7名他海洋科学系列担当教諭等数名）
- (2) 定置網乗船体験（6月19日、久慈市漁協自営定置「白島網」、3年生3名他海洋化家具系列担当教諭1名）
- (3) 水産職場（栽培漁業：ウニ、ナマコ採卵）体験（8月24日、岩手県栽培漁業協会種市事業場、2年生8名他海洋科学系列担当教諭2名）
- (4) 水産職場（魚市場での水揚げ作業）体験（10月26日、久慈市営魚市場、2年生8名他海洋科学系列担当教諭1名）

2 今回の概要

- (1) 日時 令和3年2月22日（月）11時～11時50分
- (2) 場所 久慈東高校1階会議室
- (3) 内容 定置網に従事する漁業者が講師となり定置漁業に関して講義
- (4) 対象 久慈東高校総合学科海洋科学系列2年生 8名

担当：水産振興課長 太田 電話：0194-53-4985 内線 365
--

懇談項目 12

第1回久慈川水系河川整備懇談会の開催について

(土木部)

県では、平成28年8月の台風第10号や令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨による久慈川、小屋畑川等の甚大な浸水被害を踏まえ、浸水被害の軽減等を図るため、河川整備の具体的な実施内容を定める「久慈川水系河川整備計画」の策定作業を進めています。

本計画の策定に向け、地域の方々から意見を伺う1回目の懇談会を次のとおり開催しますので、お知らせします。

1 日時 令和3年2月22日（月）13時30分～15時30分（予定）

※ 13時から受付開始

2 場所 久慈地区合同庁舎6階大会議室

3 議事（予定）

(1) 懇談会の進め方について

(2) 久慈川水系河川整備計画（案）について

4 傍聴定員 10名

5 取材上の留意事項

(1) 取材の可否

議事の(2)を非公開としますが、会議終了後、事務局（土木部）が会議資料を提供し、取材に協力します。

(2) 非公開とする理由

情報公開条例第7条第1項第5号（※）に該当

(3) その他

取材を希望される場合は、前日までに担当まで御連絡願います。

河川整備計画（参考）

○ 今後20年から30年間の河川整備の目標や具体的な実施内容を定める計画

○ 県内の策定状況は以下のHPを参照

トップページ > 県土づくり > 河川・砂防・土砂災害 > 河川 > 河川整備計画

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kasensabou/kasen/seibikeikaku/1009931.html>

※ 情報公開条例第7条第1項第5号

県の機関、国の機関、独立行政法人等、県以外の地方公共団体及び地方独立行政法人の内部又は相互間における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ、不当に県民等の間に混乱を生じさせるおそれ又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすおそれがあるもの。

担当：河川港湾課長 田村

電話：0194-66-9689 内線471

懇談項目 13

高校生との協働による橋梁点検の報告会の開催について

(土木部)

県では、令和元年度から、インフラメンテナンスに関する知識向上及び土木業界の担い手の確保・育成を推進するため、県内工業高校と協働による橋梁点検に取り組んでいます。

今年度、県北広域振興局管内では、県立久慈工業高等学校と協働による橋梁点検を実施したところであり、橋梁点検結果等の県への報告会を開催しますので、お知らせします。

- 1 日 時 令和3年2月19日（金）13時から13時40分
- 2 場 所 久慈地区合同庁舎 5階 第2会議室
- 3 報告者 県立久慈工業高等学校（建設環境科2年生・環境土木コース8人）
- 4 報告橋梁 主要地方道一戸山形線・蒲野橋ほか3橋
- 5 県出席者 県土整備部道路環境課 照井総括課長
県北広域振興局土木部 佐野部長 ほか

○ 点検作業の状況：令和2年11月25日（水）



○ 点検橋梁の健全性診断の状況：令和3年1月20日（水）



担当：道路整備課長 古舘
電話：0194-53-4990 内線 261

令和3年2月

行事予定表

日	曜	行 事	時間	場所	会場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
8	月	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
9	火	農福連携に係る意見交換会	14:00～15:50	久慈市	久慈合同庁舎6階大会議室	○	農政部農業振興課	53-4983
9	火	「岩手木炭海外販売」第1便セレモニー	13:30～	久慈市	久慈市山形町荷軽部3-18	○◎	林務部林業振興課	53-4984
10	木	第3階北いわて未来牽引サミット	14:00～16:50	久慈市	久慈グランドホテル	○◎	経営企画部産業振興室	66-9670
13	土	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
18	木	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
19	金	山ぶどう新系統のワイン適正評価会	15:00～17:00	久慈市	久慈 グランドホテル	○	久慈農業改良普及センター	53-4989
19	金	高校生との協働による橋梁点検の報告会	13:00～13:40	久慈市	久慈合同庁舎5回第2会議室	○		
19	金	令和3年度山火事防止対策協議会	13:30～15:00	久慈市	久慈合同庁舎6階大会議室	○	林務部林業振興課	53-4984
22	月	食の匠による郷土料理伝承会	10:00～12:00	久慈市	久慈合同庁舎2階栄養相談室		久慈農業改良普及センター	53-9684
22	月	漁業担い手確保に係る定置漁業の講義	11:00～11:50	久慈市	久慈東高校1階会議室	○	水産部水産振興課	53-4985
22	月	第1回久慈川水系河川整備懇談会	13:30～15:30 (受付13:00～)	久慈市	久慈合同庁舎6階大会議室	○	土木部河川港湾課	66-9689
23	火	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
26	金	地域おこし相談会inいわて	14:00～17:00	久慈市	久慈合同庁舎6階大会議室		経営企画部産業振興室	66-9671
28	日	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123

令和3年3月上旬

日	曜	行 事	時間	場所	会場	県出席者	担当課等	連絡先 (0194)
3	水	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
8	月	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123
13	土	【定例】市日(3と8のつく日) ※要問い合わせ	8:00頃～	久慈市	市日通り		久慈市観光交流課	52-2123

◎局長出席 ☆技監(保健所長)出席 ○部・室長等出席